

第5回図書館総合展フォーラム

SPARC/JAPAN-日本の国際学術コミュニケーションの変革-  
東京国際フォーラム平成15年11月5日(水)



# IPAPの戦略

パネルディスカッション 学術雑誌とSPARC/JAPAN:  
何が問題か、どうすればよいのか、SPARC/JAPANの役割は？

埼玉大理 佐宗 哲郎

日本物理学会理事 (IPAP担当)

物理系学術誌刊行協会 (IPAP)理事

1



## IPAP (物理系学術誌刊行協会)

- 2000年4月設立。
- 日本で唯一の、学会から独立した学術誌出版組織。
- JPSJ, JJAP, PTP, OR4誌の刊行業務を、各協会から委託されている。
- 各誌の編集責任・著作権は、各学会が保有。
- JPSJ, JJAPの販売戦略は、IPAPが学会との協力の下に行う。

2




## Journal of the Physical Society of Japan (JSPJ)

日本物理学会発行

- 1946年創刊, 現在Vol.72(2003), IF=1.596
- 線形応答の久保公式(1957)等の著名論文を掲載
- 年間12号, 600論文, 3000頁, 1700部
- 機関購読 60,000円, 個人会員9,000円

3



## Japanese Journal of Applied Physics (JJAP)

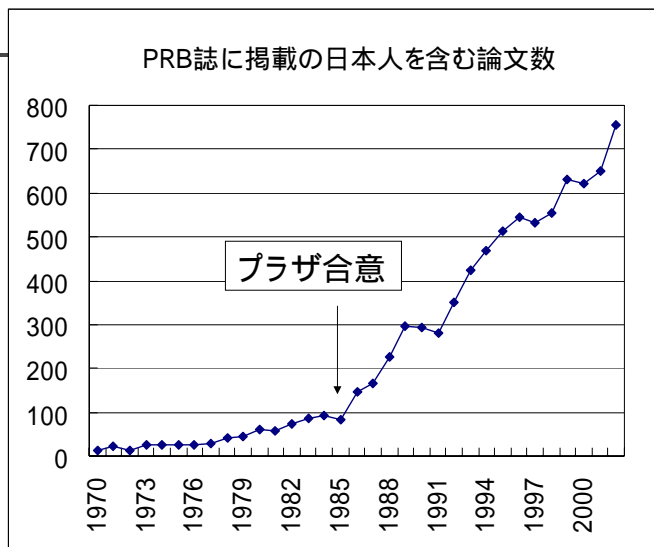
応用物理学会発行

- 1962年創刊 (by 日物+応物), 現在Vol.42(2003), IF=1.280
- 青色発光ダイオード, 高温超伝導, etc.
- 年間41号 (Pt.1+Pt.2), 2000論文, 9,000頁, 2900部
- 機関購読 140,000円, 個人会員12,000円

4



## 日本の研究成果の海外への流出



7

## 海外の競合誌

- Phys. Rev. Lett. (APS) IF=7.323
  - Phys. Rev. B (APS) IF=3.327
  - Europhysics Lett. (EPS) IF=2.360
  - J. Phys. Cond. Matter. (IoP) IF=1.775
  - European Phys. J. B (Springer) IF=1.741
- J. Phys. Soc. Jpn.:  
IF=2.338(1998) 1.596(2002)

日本人が日本の雑誌を引用していない？  
インパクト・ファクター至上主義？

8

# インパクト・ファクターの利用と誤用

cf. M. Amin & M. Mabe (*Elsevier Science*) October 2000

窪田輝蔵「科学を計る ガーフィールドとインパクト・ファクター」  
(インターメディカル, 1996)

- IF は最も広く使用されているが、最も間違っ  
て解釈されている。
- IFは雑誌の指標であって、それを個々の論文の  
評価に用いるのは大いに問題がある。
- しかし、IFの高い雑誌に載せたいのは、入試の  
難しい大学に入りたいのと同じチャレンジ精神  
なので、止めるのは困難。雑誌の魅力を増すの  
が第一。

9

## JPSJの電子アーカイブ

|                | JPSJ                                | JJAP   | PTP                            |
|----------------|-------------------------------------|--|--------------------------------|
| IPAP           | Vol.54(1985)-                       | Vol.28(1989)-  | Vol.69(1983)-                  |
|                | Supplements(Vol.65-)                |  |                                |
| J-Stage        | Vol.63(1994)-<br>Vol.69(2000)       | Vol.33(1994)-<br>Vol.39(2000)<br><br>JJAP Series<br>Vol.1(1988)-11(1999) | Vol.93(1995)-<br>Vol.106(2001) |
| NACSIS-<br>ELS | Vol.24 Num.6(1968)-<br>Vol.71(2002) | Vol.1(1962)-<br>Vol.39(2000)   | Vol.1(1946)-<br>Vol.107(2002)  |
| 料金(1頁<br>当り)   | 表示5円,印刷10円<br>(非会員は印刷15円)           | 表示10円,印刷20円  |                                |

NACSIS-ELS=国立情報学研究所(NII)の電子図書館サービス

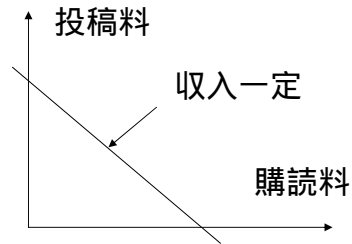
(\*)Vol.1からの分も電子化予定。PDF化も予定。

J-STAGE=科学技術振興事業団(JST)の科学技術情報発信・流通総合システム<sup>10</sup>

## IPAPの経営戦略(1)

- 収入の道：紙版から電子版へ(電子版にお金を払ってもらえるか？)
- 商業誌の戦略：投稿料無料，購読料値上げ
- 米国物理学会も追随

IPAPはどうする？



11

## IPAPの経営戦略(2)

- IPAP総合システムの完成を目指す。
- 2004年1月から，オンライン版を有料化  
ただし，新刊3ヶ月間は無料  
(JJAPIは，途上国無料)
- Pay-per-viewの導入
- 専任編集長の導入を計画中(JPSJ)  
専任編集長の下での，迅速な行動によるサービスと魅力の向上
- 創刊号からのオンライン化の実現
- 将来は，米国，欧州と並ぶ第3極としての国際誌を目指す。

12

## ヨーロッパの物理系学術誌の再編

Zeitschrift fur Physik A,B,C,D (独)  
Journal de Physique I,II,III,IV (仏)  
Il Nuovo Cimento A,B,C,D (伊)  
Journal of Physics A,B,C,D,G (英)

European Phys. J. A,B,C,D,E (Springer)

Europhysics Letters (EPS)



New J. Physics (Online-only) (EPS)

Il Nuovo Cimento B,C (伊)

Journal of Physics A,B,CM,D,G (IoPP) 13

## 日本(アジア)の雑誌の再編?

J. Phys. Soc. Jpn.

Jpn. J. Appl. Phys.

Prog. Theor. Phys.



??



Chinese Physics + Lett.

J. Korean Phys. Soc.



## 政府の支援

- 科研費  
紙版ベースでなく、オンライン版ベースへ
- 科学振興事業団 (JST) の J-STAGE  
使用料無料は魅力。自前のソフトウェア開発の限界を救済。  
アーカイブ10年制限の撤廃を!
- NIIのSPARC/JAPAN(2004-2006)  
JPSJ, JJAPは、ともに採択された。経営のノウハウのコンサルティングを期待。

15



## まとめ

- JPSJ/JJAPは日本物理学会/応用物理学会会員自らが守らなければならない。
- 競争は大事だが、増大する研究費が、海外有名誌のみに流れるのは問題。
- 他方では、JPSJ/JJAPも、真の国際誌への脱皮が必要。(アメリカ、ヨーロッパ・アジアの3極構造?)「守り」だけではだめなことは明らか。
- 国粹主義はよくないが、国際主義(グローバリゼーション礼賛)も単純すぎる。
- 編集委員会システムの見直し
- 政府の支援(科研費, SPARC/JAPAN, etc.)

16